



レター

～板橋第八小学校 特集～

発行元：教育委員会事務局 地域教育力推進課 地域連携係 TEL3579-2619

板橋第八小学校では、今年度第3回CS委員会から会議の運営方法が大幅に変わりました。その経緯や現在の様子についてご紹介します。

また、今年度4校のCS委員会にiCSアドバイザーを派遣した様子についてもご紹介します。

CS委員からの提案

昨年（令和5年）10月に行われた板橋第八小学校第3回CS委員会では、一人の委員より、CS委員会の運営方法の変更について提案がありました。

【提案内容】

- ① 熟議のテーマは、事前にCS委員長と校長で話し合う。
1週間前までに各委員にテーマを知らせ、委員は意見を準備した上で参加する。
- ② 進行は、学校ではなく地域委員が行う。
- ③ 地域委員が熟議の内容を議事録で残し、板橋第八小iCSだより作成のサポートを行う。



提案を行ったCS委員は、昨年9月に実施した教育委員会主催の「ファシリテーター研修」にご参加くださった方です。研修で、熟議の組み立て方やファシリテーターの重要性について学ばれたことを一つのきっかけとして、CS委員会のあり方について考えてくださったとのことでした。

研修の内容は、令和5年度第3号iCSレターで紹介しています→



運営方法の変更

提案については、委員全員が賛成し、実際にできるところから運営方法を変更していくことが決定されました。

早速、第4回委員会では、提案した委員自ら進行を担い、フセンを使って意見を出し合う形での熟議を実践しました。新しい教育目標をつくるため、「どのような子どもに育ててほしいか」についての熟議を行い、「思いやりのある子」、「人に優しく進んで学ぶ子」など約30のキーワード



が出されました。そして、出されたキーワードを委員が記録に残し、第5回委員会で配付しました。出された意見がその場限りにならず、継続した熟議となるような工夫をされていました。さらに、学校発行の「板橋第八小iCSだより」作成のサポートも開始され、委員が議事内容を文字に起こし、それをもとに学校が便利を発行しています。

現時点で、委員からの提案内容①～③の全てが実現しています。来年度のCS委員会でも、新たな教育目標づくりについて継続した熟議が行われていくことでしょう。一人の委員からの提案をきっかけとして、「地域とともにある学校」の実現に向けて進んでいる様子が見られた、板橋第八小学校のCS委員会でした。

iCSアドバイザーが4校のCS委員会を訪問しました

～iCSアドバイザー派遣事業のご紹介～

今年度、CS委員会のさらなる充実を図るため、新任校長の学校を中心に、4校のCS委員会をアドバイザー3名が訪問しました。（訪問校：舟渡小、北前野小、赤塚新町小、西台中）

アドバイザー訪問を終えた校長先生からは、「学校で困っていることや、地域についてわからないことを、安心して委員の方々に相談できると再認識できた」、「他地区の事例を含め、具体的にどのように進めていくのがよいか、ヒントをいただいた」等のご意見が寄せられました。来年度も、6校程度の学校でiCSアドバイザー派遣を行う予定です。CS委員会の運営方法や学校支援地域本部との連携などについてお悩みの場合は、是非、アドバイザー派遣をご検討ください。

iCSアドバイザー派遣事業の流れ



CS委員会を見学

まずは、CS委員会の様子や雰囲気を見学します。



校長先生やCS委員長等とヒアリング

ヒアリングを行い、iCS活用のビジョンやめざす方向性を引き出します。